

第 51 期

中間事業報告書

自 平成15年10月 1 日

至 平成16年 3 月31日

株式会社 **大森屋**

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社の第51期上半期(自平成15年10月1日 至平成16年3月31日)が終了いたしましたので、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、民間設備投資や輸出の緩やかな増加やコスト削減などの合理化による企業収益の好転など一部に持ち直しの兆しが見受けられたものの、所得・雇用情勢の改善には至らず、個人消費も引き続き弱含みに推移するなど、依然として大変厳しい状況が続きました。

当業界におきましては、消費者マインドの冷え込みにより、ますます競争が激化し、店頭での販売価格の低下という厳しい状況でありました。

原料海苔につきましては、全国的に11月から12月にかけての秋芽生産が思わしくなく、かつ雨量不足などにより生産の終了期が予想以上に早くなり、平成15年度の海苔生産量は前年比88%と減産になりました。そのため原料海苔単価は前年比111%に上昇し、加工海苔業界にとっては原料高販売安という環境に直面いたしました。

このような状況のもと、当社では利益重視の方針を維持しつつ、新製品の開発、経費の更なる削減に注力し、新販路の開拓も含め積極的な売上増強策を展開してまいりました。

新製品の開発につきましては、前期に発売しました当社の

メインふりかけである「緑黄野菜ふりかけ」の姉妹品である「赤い野菜ふりかけ」および「緑黄野菜 混ぜご飯の素」「小魚混ぜご飯の素」が売上増加に寄与いたしました。本年2月より発売しました「浅漬茶漬 なす」「浅漬茶漬 きゅうりと白菜」および「マヨネーズふりかけ のりたまご」は発売当初よりご好評をいただいております。

経費につきましては、ローコストオペレーションを推し進めるため、生産コストの低減、物流費等の削減をはかる一方、売上増加に伴う販売促進費の増加についても、効率的な使用により全社的な経営合理化に努力してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は8,819百万円（前年同期比1.2%減）、経常利益は427百万円（前年同期比23.7%減）、中間純利益は224百万円（前年同期比24.6%減）と減収減益になりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、販売競争が一層激化する中、販売促進活動に注力すると同時に、採算重視の観点から販売施策の効率化を推し進めた結果、売上高は3,304百万円（前年同期比3.8%減）となり、進物品は、2,167百万円（前年同期比8.1%減）となりました。ふりかけ等につきましては、新商品とともに当社のロングセラー商品である「緑黄野菜ふりかけ」「お茶漬亭」が好調に推移し、1,450百万円（前年同期比11.8%増）と大きく増加いたしました。業務用海苔につきましては、コンビニエンスストア市場の中で、おにぎり、お弁当類が好調を維持していることと、新規取引先も着実に増えており、1,868百万円（前年同期比4.2%増）と引き続きの増加となりました。

中間配当につきましては、見送らせていただきました。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成16年6月

取締役社長 福野孝治

中間貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,781,829	流動負債	4,227,546
現金及び預金	706,291	支払手形	249,230
受取手形	30,117	買掛金	495,805
売掛金	2,255,114	短期借入金	2,450,000
たな卸資産	6,597,282	未払金	682,387
その他	193,484	未払法人税等	186,000
貸倒引当金	460	賞与引当金	94,801
		その他	69,321
固定資産	2,837,822	固定負債	279,543
有形固定資産	2,328,973	退職給付引当金	276,198
建物	654,743	その他	3,345
土地	1,410,886	負債合計	4,507,090
その他	263,342	(資本の部)	
無形固定資産	19,310	資本金	814,340
投資その他の資産	489,538	資本剰余金	1,043,871
投資有価証券	260,543	資本準備金	1,043,871
会員権	68,300	利益剰余金	6,214,844
その他	200,986	利益準備金	93,500
貸倒引当金	40,291	任意積立金	5,856,494
		特別償却準備金	3,494
		役員退職給与積立金	450,000
		別途積立金	5,403,000
		中間未処分利益	264,850
		株式等評価差額金	45,098
		自己株式	5,594
資産合計	12,619,652	資本合計	8,112,561
		負債及び資本合計	12,619,652

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 2,308,255千円
 2. 担保に供している資産
 建物 190,928千円
 土地 147,559千円
 3. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
経常損益の部	営業収益		8,819,485
	売上高		
	営業費用		
	売上原価	5,335,343	
	販売費及び一般管理費	3,054,900	8,390,243
	営業利益		429,241
	営業外収益		
	受取利息及び受取配当金	1,663	
	雑収入	2,106	3,770
	営業外費用		
支払利息	3,785		
雑損失	1,952	5,738	
経常利益		427,273	
特別損益の部	特別利益		
	貸倒引当金戻入益		1,849
	特別損失		
	役員退職金	17,612	
固定資産除却損	802	18,414	
税引前中間純利益		410,708	
法人税・住民税及び事業税		184,626	
法人税等調整額		1,558	
中間純利益		224,523	
前期繰越利益		40,327	
中間未処分利益		264,850	

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (平成16年 3月31日現在)

社 名	株式会社 大 森 屋
設 立	昭和30年 3 月
主要な事業内容	当社は主として、海苔加工販売を事業とし、これに附帯する業務を営んでおります。
資 本 金	814,340,400円
従 業 員 数	205名
主要な事業所	
本社・大阪支店	大阪市福島区野田 4 丁目 3 番34号
特 販 部	大阪市此花区西九条 1 丁目 1 番60号
東 京 支 店	東京都練馬区高野台 2 丁目27番17号
福 岡 工 場	福岡県山門郡大和町大字豊原111
広 川 工 場	福岡県八女郡広川町大字日吉548番16
関西物流センター	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター 1 丁目93号

役員 (平成16年 3月31日現在)

代表取締役社長	稲 野 幸 治
代表取締役副社長	稲 野 龍 平
専 務 取 締 役	楠 瀬 好 房
常 務 取 締 役	川 口 良 夫
取 締 役	稲 野 達 郎
取 締 役	菊 本 幹 茂
取 締 役	松 本 嘉 道
常 勤 監 査 役	坂 江 和 夫
監 査 役	村 川 義 夫
監 査 役	叶 智 加 羅

(注) 監査役のうち、叶 智加羅氏は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第 1 項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ 公告して定めます。
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年9月30日 なお、中間配当を実施するときの株 主確定日は、3月31日といたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告に代えて貸借対照表および 損益計算書を当社ホームページに掲 載しております。 http://www.ohmoriya.com/
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541 8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	電話 ☎ 0120 255 100 株式関係のお手続用紙のご請求は 次の電話番号およびインターネッ トで24時間承っております。 手続用紙請求電話 ☎ 0120 351 465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

株主優待制度に関するご案内

1. 株主優待方法 毎年9月30日現在の株主に対し3,000円相当の自社製品を贈呈する。また、毎年3月31日現在の株主に対し2,000円相当の自社製品を贈呈する。
2. 贈呈基準 所有株式数1,000株以上の株主。

以上

楠

大森屋